



学校だより 4月号

発行日 令和7年4月7日

大志の学び舎

世田谷区立太子堂小学校

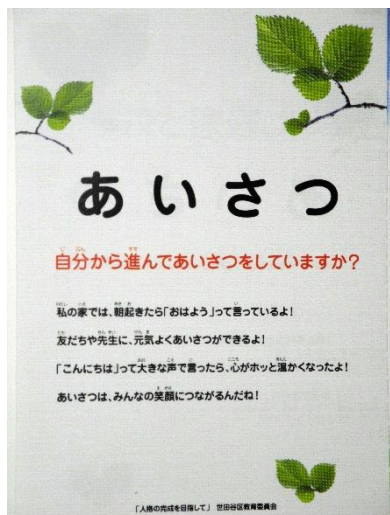


『教師は授業 家庭は愛情 地域で育つ 9年間』

4月の目標

人格の完成を目指して
「あいさつ」

- ＜安全＞
 - ・通学路を正しく歩こう
- ＜保健＞
 - ・自分の体を知ろう
- ＜給食＞
 - ・準備と配膳の仕方を覚えよう
- ＜あいさつ＞
 - ・元気な声であいさつをしよう



〒154-0004

世田谷区太子堂5-7-4

電話 03(3413)4621

FAX 03(3413)4799

新たな決意

校長 廣瀬 維謙

御入学、御進級おめでとうございます。

令和7年度、創立97年目の太子堂小学校は43名の新1年生を迎え、児童数394名、15学級、教職員約50名の体制でスタートしました。今年度も、本校の教育目標である『学び合う子 思いやりのある子 たくましい子』の達成に向け、全教職員が一丸となって努めてまいります。

さて、子育てはよく「家庭でしつけ、学校で育て、地域で成長する。」と言われています。家庭・学校・地域の三者が共通理解を図り、一体となって推進することが大切です。学校では毎年、「おはようございます」「ありがとうございます」「しつれいします」「すみません」など、いろいろな場面ですすんで挨拶ができるよう常に指導をしています。これらの頭の言葉を集めると、皆さん御存じの「オアシス」になります。

視点を変えて、家庭の「オアシス」を考えてみますと、家族同士のつながり「絆」を表す言葉かけになるかと思います。

『オ』は、思いやりのオです。「お帰り」「お疲れさま」などの言葉を聞くと、子どもは家に帰ってきて心が落ち着きます。

『ア』は、愛情のアです。「安心したよ」「慌てないで」といった言葉かけをすると、家族が自分を愛してくれているという満ち足りた気持ちになり、子ども自身もより家族を愛するようになります。

『シ』は、信頼のシです。「信じている」「しっかりしてきたね」など、温かく包み込んであげると、子どもの家族への信頼感がさらに高まります。

『ス』は、素直な心のスです。「すごいね」「すばらしい」など、素直に褒めると、子どもに喜びと勇気を与えます。

子どもの気持ちは、天気のように日々変わります。これらの言葉かけによって返ってくる言葉から、日々の変化を観察して、心配なことがあれば遠慮なく学校に御相談ください。学校と家庭が協力して問題解決に当たることが、子どもたちの幸せにつながります。

これまで、本校を大事に思ってくださいる方々に見守られ、様々な御協力や御支援をいただきました。今後も多くの皆様にお力添えをいただけると幸いです。新年度の始まりに、太子堂小学校の子どもたちのよさや可能性を伸ばすため、教職員と共に全力を尽くすという決意を新たにしています。今年度もよろしく願いいたします。

★児童の写真・作品等の掲載について

○学校だより、学年だより、学校ホームページなどにお子さんの写真や作品を掲載する場合があります。

○顔と名前が一致するような掲載の仕方はしません。

○顔がはっきり分かるような写真の掲載はしません。

上記のような条件でも掲載を希望しない場合は、4月14日(月)までに担任へお知らせください。